

平成 19 年 8 月

( 第 1 回 )

京 都 府 教 育 委 員 会 会 議 録

1 開 会 平成19年8月27日 午後 2 時 4 分  
閉 会 平成19年8月27日 午後 3 時15分

2 出席委員

藤 田 委 員 長 冷 泉 委 員 岩 田 委 員  
大 橋 委 員 畑 委 員 田 原 教 育 長

3 欠席委員

な し

4 出席事務局職員

勝 間	教育次長	森 永	管理部長
宮 野	指導部長	中 島	指導部理事
橋 本	総務企画課長	永 野	教職員課長
桐 村	学校教育課長	北 澤	高校教育課長
太 田	企画情報室長	阿 部	主 幹
廣 田	主 任	林	主 任

## 5 議事の概要

### (1) 開会

委員長が開会を宣告

### (2) 前会議録の承認

ア 7月分1回の会議録について、全出席委員異議なく、これを承認した。

### (3) 報告事項

ア 請願陳情等の受理状況について

(ア)「京都の定時制・通信制教育を考えるみんなの会」からの申入れについて

#### 【報告】

指導部長から、要望書の概要について説明の後、募集定員の決定にあたっては、生徒の希望や進路の状況などを総合的に判断し、関係機関と連携の上、決定をしていること。様々な要素を勘案しながら引き続き検討していきたい旨の報告があった。

#### 【意見等】

委員から、昨年までの定時制通信制に関する募集定員と入学等の状況について質問があり、指導部長から、募集定員に対する入学者は平成17年度には95%、平成18年度には87%と大幅な低下が見られたこと。こうした状況から平成19年度には定時制通信制での募集定員を減じ97%であったこと。19年度では、定時制通信制での募集定員を減少させたが、生徒の進路希望調査の結果を踏まえて全日制での募集定員を増加させた旨の説明があった。

また、委員から、2次募集での応募者が多くあった状況と進路希望調査の結果をみると1次募集で全日制へ入学ができなかった子どもたちが多くいると考えられ、全日制の募集定員増を図るといふ方向性は適当であること。募集段階で定員に満たない学校が判明した段階には情報提供を行うなど進路指導面で配慮できるような仕組みも考えてはどうかとの意見があった。

イ 平成18年度における不登校の状況について

#### 【報告】

指導部長から、文部科学省が発表した「平成18年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果」の概要説明の後、全国では不登校児童生徒数が平成14年度から平成17年度まで減少してきたが、平成18年度は増加が見られたこと。京都府の状況としては、小学校・中学校ともに減少が見られ、出現率は小学校0.38%・中学校3.14%であったが、いずれも全国平均を上回っている状況にある旨の報告があった。

【意見等】

委員から、本調査における不登校の定義、不登校児童生徒を受け入れる民間団体で学ぶ児童生徒の扱い、地域別の傾向について質問があり、指導部長から、不登校の定義は病気等の場合も含み年間30日以上欠席者となっていること。学校以外で学ぶ児童生徒については出席扱いと認める場合はあること。地域別では、都市部における出現率が高い傾向がみられる旨の説明があった。

ウ 府立学校教員の失職について 【非公開】

(4) 議決事項

ア 第29号議案 平成20年度京都府立中学校第1学年生徒募集定員について

【議案提案】

教育長から、京都府立学校の管理運営に関する規則第32条の規定により、平成20年度京都府立中学校第1学年生徒募集定員を定めるとの議案提案があり、指導部理事から府立洛北高等学校附属中学校及び府立園部高等学校附属中学校について昨年と同数の募集定員を定める旨の説明があった。

[原案どおり可決。]

イ 第30号議案 通学区域の調整について

【議案提案】

教育長から、京都府立の中学校及び高等学校の通学区域に関する規則第2条第3項の規定により、通学区域の調整を行うとの議案提案があり、指導部理事から本来の通学区域では設置されていない類・類型を志望する生徒の希望を叶えること及び地域の実態を考慮した適正な通学区域とするために調整を行う旨の説明があった。

[原案どおり可決。]

ウ 第31号議案 平成20年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員について

【議案提案】

教育長から、京都府立学校の管理運営に関する規則第32条の規定により、平成20年度京都府立高等学校第1学年生徒募集定員を定める旨の議案提案があり、指導部理事から本年度の中学校卒業生見込数は20,430人であり昨年度より157人増加する見込みであること。地域別には京都市域165人・山城地域127人の増、丹後地域92人の減であること。これらの中学校卒業見込数を踏まえて、各校の募集定員案の説明があった。

[原案どおり可決。]

エ 第32号議案 平成20年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等第1学年生徒募集定員について

【議案提案】

教育長から、京都府立学校の管理運営に関する規則第32条の規定により、平成20年度京都府立特別支援学校幼稚部・高等部等第1学年生徒等の募集定員を定めるとの議案提案があり、指導部理事から、特別支援学校中学部卒業予定者数、中学校特別支援学級卒業予定者数から見込まれる入学見込者数が昨年度の募集定員以内であることから、昨年度と同数の募集定員とすること。募集の結果、定員を超える場合には弾力的な対応をしていきたい旨の説明があった。

[原案どおり可決。]

オ 第33号議案 府立学校教員の懲戒処分について 【非公開】

[原案どおり可決。]

カ 第34号議案 府立学校教員の懲戒処分について 【非公開】

[原案どおり可決。]

キ 第35号議案 小学校教員の懲戒処分について 【非公開】

[原案どおり可決。]

(5) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号)

報告事項ウ並びに議決事項オ、カ及びキについて、全出席委員異議なく、公開しないこととするに議決。

イ 日程変更に関する承認について

報告事項ウについて、議決事項の後に日程を変更することについて、全出席委員異議なく、これを承認。

(6) 閉会

委員長が閉会を宣告

署 名

藤 田 委 員 長

冷 泉 委 員

岩 田 委 員

大 橋 委 員

畑 委 員

田 原 教 育 長

事 務 局 職 員